

令和6年9月30日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す 住 み よ い げん 元 き な 緑 の 郷 大 草 野

かかし制作 9月15、22日(日)9:00～ 4部会が制作終了

9月の真ん中、気温はすでに30℃になっています、この日も猛暑日になりそうです。そんな中で、かかし作りの先鋒として地域づくり部会が万才倉庫に集結しました。

SAGA2024推進課では、大会記録の一つとして残すために、かかし制作の様子を、委託を受けた業者が撮影に来られました。最後は、出来上がった1体のかかしを持って、記念撮影がありました。その写真は後のお楽しみにして、ここでは制作風景を掲載しました。最終的には4体のかかしが出来上がりました。さて、これがどういうふうに表示される



地域づくり部会の皆さん



総務広報部会の皆さん

か、乞うご期待です！ 22日(日)は、総務広報、公民館活動、環境整備の3つの部会が集まって、賑やかに制作に取り組んでいました。そして、職員サポーターもいつもより多く集まってくれていました。市には、コミュニティという一つの地域組織が大会を盛り上げるために頑張っているということを理解していただければと思います。29日に健康福祉部会、10月5日に青少年育成部会が制作し展示すれば、いよいよかかし祭りがスタートします。大草野の皆さん、ぜひ一度はご覧ください。



公民館活動部会の皆さん



環境整備部会の皆さん

今年度4回目の除草作業、防災広場！ 9月14日(土)



ホテル人工池の駐車スペースに集合したのは、総勢13名です。令和2年に防災広場の受託事業を始めてから5年目を迎えています。主に夏場の作業ですので、暑くて大汗をかいて、水分を摂取しながらの作業で大変ではありますが、参加の皆さんの自発的な愛郷心に支えられて、おかげさまで順調に維持管理ができています。いまでは、防災広場だけでなく、ホテル人工池まで毎年キレイに維持できるようになりました。ホテル人工池の方も、市の補助を受けて池の延長の半分はコンクリートによる工事ができて、漏水しない池が出来上がりました。残り半分以上をまた工事ができればいいなと思っています。

我が防災広場草刈隊の13人のG達は、異常気象の暑さの中でも、黙々と草刈機を操りました。休憩時には水分補給をして、熱中症と暑さ対策も問題ありません。草刈隊員は、常時募集中です。

楽しかったのしい草刈隊に参加希望の方は、事務局までご連絡をお願いいたします。お陰様で、最初7名程度だった隊員が、現在は15名になりました。参加できるときだけで構いませんよ。

第15回 グラウンドゴルフ大会 (回覧板にて参加者募集)

日時：10月27日(日) 8時15分集合 競技開始：9:00

場所：大草野防災広場(南上区 湧野陶土 裏)

※申込期限は10月11日(金) (誰でも参加できます!)

主催：大草野地域コミュニティ運営協議会 主管：公民館活動部会

大草野小学校体育大会 第2回実行委員会 9月18日(水)

今年度の大草野小学校の体育大会は、久しぶりに一般の種目も、子ども達のプログラムの間に入って開催されることになりました。ただし、体育大会全体がお昼頃には終われるように、幼児の宝拾いを含めても5種目程度になりました。さらに、得点を争う対抗戦は無くなり、親睦競技のみになりました。ですから、お気軽に会場へお越しいただき、飛び入り可能な種目には積極的に出場してください。

私も、30代くらいまでは、ロードレースに出たあと、部落対抗リレーにも出たりと、子どもより自分のコンディションづくりの方に気が行っていたように思いますが、あれから30年以上が過ぎて、人口が減少し、出場者を探すのに苦労する区もあるようです。時代の流れの中で、行事の楽しみ方も様変わりしていかなければいけませんね。それでも、大切な大草野という郷をみんなで盛り上げていきましょう。

《編集後記》
「ゆるなる共生の仕組みを」

前回の「ぎずな」に「大切な先輩が亡くなった」と書きました。
先輩は、6年程前に脳梗塞を患って、片側に麻痺が残る杖をついての歩行でした。並行して、奥様は認知症が進行して、こころは施設に入所されていて、ひとり暮らしに近い状態でした。
それが、8月28日に、弁当を配達に来た方に居間で倒れているところを発見されて、救急搬送されました。前日のご飯が食べられていなかったため、前日から症状があったようです。
「劇症型溶連菌感染症」という聞きなれない病気だったので、多臓器不全に近い状態で集中治療室での手当の甲斐もなく、9月10日、容態が急変し、残念ながら亡くなりました。
弔辞を読みながら、どうも我慢ができません。『ここに書いてはいいませんが』と前置きして、『先生がもう少し早く発見されていたら、結果は変わっていたのかも知れない、と言う思いが拭い切れません。これからますます高齢化が進む中で、行政も地域ももっと実効性のある見守りができる仕組みが必要だと思いますので、自分なりに働きかけていきたいと思っています。合掌』と結びました。
現行では、民生委員さんが主になり活動の中で様々な方の見守りを行ってらっしゃいますが、民生委員さんだけに頼つてはいけませんし、すべてをカバーするには無理があると思います。
誰もが「明日は我が身」であることを考えていく必要があります。